

バイオテクノロジーセミナー日程

	12月13日(水) 13:15 ~ 15:15	12月14日(木) 13:15 ~ 15:15	12月15日(金) 13:15 ~ 15:15	12月16日(土) 13:15 ~ 15:15
A会場	第一化学薬品株式会社 試薬統括部	ジェノミック ソリューションズ 株式会社	ライフテック オリエンタル 株式会社	日本ミリポア株式会社
B会場	クロンテック株式会社	アマシャム ファルマシア バイオテック 株式会社	宝酒造株式会社	三井情報開発株式会社
D会場	株式会社 日立製作所 ライフサイエンス 推進事業部	東洋紡績株式会社	日製産業株式会社	
E会場		株式会社 島津製作所		
H会場	ロシュ・ダイアグノ スティックス 株式会社	プロメガ株式会社	日立ソフトウェアエン 지니어リング株式会社 ・株式会社 DNA チッ プ研究所	
I会場	横河アナリティカル システムズ株式会社	エムジェイジャパン 株式会社	アプライドバイオ システムズジャパン 株式会社	
J会場	株式会社 トミー精工	ビーエム機器株式会社 ・ 日本ブルカー・ダルトニクス 株式会社	株式会社 キアゲン	
K会場	住商バイオサイエンス 株式会社	NEPAグループ：代表テーア ールテック株式会社，「(有)ユ ニークメディカル・イマダ， (株)ベックス，(有)ジン・システ ム，トキワサイエンス(有)」	ピアコア株式会社	

バイオテクノロジーセミナー プログラム

バイオテクノロジー

BT-1A 第一化学薬品株式会社試薬統括部
12月13日(水) 13:15 ~ 15:15 A会場

題名: ストレスから細胞死へのセルシグナリング

座長: 垣塚 彰 (財)大阪バイオサイエンス研究所)

13:15 ~ 13:35 Over View

垣塚 彰 (財)大阪バイオサイエンス研究所)

13:40 ~ 14:00 Activation State Antibody for Cell Signaling Research

Dr. Melnick (Director of Marketing Development CST Inc.)

14:05 ~ 14:35 異常プレセリニンによる小胞体ストレスの分子機構

今泉和則 (奈良先端科学技術大学院大学)

14:40 ~ 15:10 ASK1-MAP キナーゼ系による ER ストレスの情報伝達

一條 秀憲 (東京医科歯科大学)

BT-1B クロンテック株式会社
12月13日(水) 13:15 ~ 15:15 B会場

題名: 遺伝子発現 - Now and Beyond

司会: 松崎正晴 (クロンテック株式会社)

13:15 ~ 13:55 臨床材料を用いた Atlas cDNA アレイによる遺伝子発現のプロファイル
- 薬効試験への応用 -

西尾和人 (国立がんセンター研究所薬効試験部)

13:55 ~ 14:35 新規アデノウイルスベクターシステムの開発

水口裕之, 早川堯夫 (国立衛研・生物薬品部)

14:35 ~ 15:15 オワンクラゲ GFP と六放サンゴ RFP の展望

宮脇敦史, 永井健治, 水野秀昭, 沢野朝子 (理化学研究所・脳科学総合研究センター・細胞機能探索)

BT-1D 株式会社日立製作所ライフサイエンス推進事業部
12月13日(水) 13:15 ~ 15:15 D会場

題名: ゲノム・プロテオーム研究へのトータルソリューション提案

司会: 原田義則 (株)日立製作所・ライフサイエンス推進事業部事業企画部長)

13:15 ~ 13:55 トータルソリューションサービスの御紹介

岩柳隆夫 (株)日立製作所・ライフサイエンス推進事業部 CTO)

13:55 ~ 14:35 The Industrialization of Biological Research Paul Bartel (Myriad Genetics, Inc.)

14:45 ~ 15:15 Beyond the Human Genome Sequence

- Advanced Tools, Databases and Services of Double Twist/Hitachi -

John Burke (DoubleTwist, Inc.)

BT-1H ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社
12月13日(水) 13:15 ~ 15:15 H会場

題名: 無細胞蛋白質合成(セルフリー)システムでのタンパク質大量発現

- 13:15 ~ 13:50 RTS 500 を用いての無細胞タンパク質合成法の原理とその応用
Dr. Wolfgang Mutter / 松田悦利(ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社)
- 13:50 ~ 14:30 小麦胚芽無細胞タンパク質大量合成系の開発と RTS500 システムへの応用の試み
遠藤弥重太(愛媛大学・工学部)
- 14:30 ~ 15:15 無細胞タンパク質合成法の構造・機能ゲノム科学への応用
横山茂之・木川隆則(理化学研究所・横浜研究所・ゲノム科学総合研究センター)

BT-1I 横河アナリティカルシステムズ株式会社
12月13日(水) 13:15 ~ 15:15 I会場

題名: 「如何に作るか」から「如何に使うか」
「アジレントテクノロジーの提供する遺伝子発現解析の新技術」

- 司会: 近藤 直人(横河アナリティカルシステムズ株式会社バイオプロダクトマーケティングマネージャー)
- 13:15 ~ 14:15 Gene Expression Solutions: Flexible Arrays on Demand
Paul Diehl(米国 Agilent Technologies 社)
- 13:15 ~ 14:45 Performance of inkjet synthesized microarrays
Stuart Hwang(米国 Agilent Technologies 社)
- 14:45 ~ 15:15 The Rosetta Resolver™ System: A Comprehensive; Storage, Visualization, and Analysis Tool for High-Volume Gene Expression Data
Mark Benjamin(米国 Rosetta Inpharmatics 社)

BT-1J 株式会社 トミー精工
12月13日(水) 13:15 ~ 15:15 J会場

題名: 21世紀に向けた In Silico・In Vitro・In Vivo 実験系の融合

- 司会: 新井芳明(株式会社 トミー精工)
- 13:15 ~ 13:55 遺伝子発現解析ソフトウェア
- 化学物質応答遺伝子の発現解析「GeneSpring の活用法」 -
百瀬祐子(通産省工業技術院・生命工学工業技術研究所・生物反応工学部)
- 13:55 ~ 14:35 動物個体内の目的遺伝子, 細胞, 組織のリアルタイムイメージング
- ルシフェラーゼを応用した In Vivo における目的遺伝子, 細胞, 組織のリアルタイムイメージング
「IVIS イメージングシステムの活用法」 -
Douglas J. Kawahara(Xenogen Corporation 社・企画市場開拓部)
- 14:35 ~ 15:15 慢性埋め込み型脳電極を使用した動物の行動分析
- ノックアウトマウス行動分析へのニューロン活動記録・解析の適用
「マイクロアクアアの活用法」 -
柳原 大(豊橋技術科学大学)

バイオテクノロジーセミナー

BT-1K 住商バイオサイエンス株式会社

12月13日(水) 13:15 ~ 15:15 K会場

題名: 21世紀創薬支援技術の新潮流

座長: 唐沢 毅 (住商バイオサイエンス)

13:15 ~ 13:45 プロテインチップシステムによるタンパク質の発現、相互作用解析

有國 尚 (サイファージェン・バイオシステムズ)

13:45 ~ 14:15 キュラジェン社による mRNA の網羅的な発現解析技術

石本吾郎 (住商バイオサイエンス)

14:15 ~ 14:45 Pyrosequencing 法による SNP 解析法

和田昌憲 (バイオット)

14:45 ~ 15:15 Origen 技術 (電気化学発光法) による高感度アッセイ方法

Dr. Jake Wohlstadter (IGEN International, Inc.)

BT-2A ジェノミックソリューションズ株式会社

12月14日(木) 13:15 ~ 15:15 A会場

題名: DNA BioChip の現状と将来

司会: 小原 収 (財 かずさ DNA 研究所)

13:15 ~ 13:25 Introduction

小原 収 (財 かずさ DNA 研究所・ヒト遺伝子研究部・部長)

13:25 ~ 13:40 BioChip Total System

George Hutchinson (Genomic Solutions Inc.)

13:40 ~ 14:35 Aligning the Key Variables for Successful DNA Microarray Analysis

Michael Kane Ph.D. (Genomic Solutions Inc.)

安田香央里 (ジェノミックソリューションズ株式会社)

14:35 ~ 15:15 Array CGH (microarray based comparative genomic hybridization) 法による欠失型変異の同定

高橋規郎 (放射線影響研究所)

BT-2B アマシャム ファルマシア バイオテック株式会社

12月14日(木) 13:15 ~ 15:15 B会場

題名: ポストゲノムシーケンス時代の Genomics & Proteomics

司会: 長谷川幸雄 (アマシャム ファルマシア バイオテック株式会社・研究開発室室長)

13:15 ~ 13:45 GeneChip system を用いた脳虚血病態の遺伝子発現解析の実際

浅井 聡 (日本大学・医学部・薬理学教室)

13:45 ~ 14:15 イネゲノムプロジェクトにおけるマイクロアレイ技術を用いた遺伝子発現の網羅的解析

菊池尚志 (農林水産省農業生物資源研究所・分子遺伝部遺伝子発現研究室)

14:15 ~ 15:15 2D Fluorescence Difference Gel Electrophoresis: Addressing bottlenecks in 2D based proteomic approaches

R & D Amersham Pharmacia Biotech AB

BT-2D 東洋紡績株式会社

12月14日(木) 13:15 ~ 15:15 D会場

題名:ポストゲノムにおける新たなる展開

司会:川上文清(東洋紡績株式会社・敦賀バイオ研究所)

13:15 ~ 13:55 オリゴキャッピング法によるイネ完全長 cDNA ライブラリーの作製と解析

村上和雄(国際科学振興財団・バイオ研究所)

13:55 ~ 14:10 Gene Navigator™ cDNA Array System 紹介

浅井友実(東洋紡績株式会社・敦賀バイオ研究所)

14:10 ~ 14:35 消化器癌における Gene Navigator™ の使用経験

伊東文生(札幌医科大学・第一内科)

14:35 ~ 15:15 遺伝子構造から遺伝子機能へ

- コムギ胚芽を用いた無細胞タンパク質合成法 -

遠藤弥重太(愛媛大学・工学部・応用化学科・応用生物化学)

BT-2E 株式会社 島津製作所

12月14日(木) 13:15 ~ 15:15 E会場

題名:プロテオミクスの最前線

- 翻訳後修飾の解明と発生過程のプロテオーム解析 -

司会:小林章一(島津製作所分析機器事業部・ライフサイエンス部)

13:20 ~ 14:40 発生過程のプロテオーム解析:なぜ今,プロテオミクスなのか?

深見泰夫(神戸大学遺伝子実験施設)

14:20 ~ 15:10 The Importance of Post-Translational Modifications in Cell Biology

Dr. Nicolle Packer (Proteome Systems Limited, Australia)

BT-2H プロメガ株式会社

12月14日(木) 13:15 ~ 15:15 H会場

題名:分子探索のための READIT™ テクノロジー

- 新しい SNP 検出法 -

司会:佐藤博之(プロメガ株式会社・マーケティング部)

演者:Richard S. Schifreen, Ph.D. (Promega Corporation: Business Unit Leader, Molecular Diagnostics)

バイオテクノロジーセミナー

BT-2I エムジェイジャパン株式会社

12月14日(木) 13:15 ~ 15:15 I会場

題名: Advanced Tools for High Throughput Genomics from M J Research, Inc'

座長: 村上康文(東京理科大学・基礎工学部・生物工学科)

13:15 ~ 13:45 The MJ DNA Engine Thermal Gradient - Advanced thermal cycler technology for optimization of annealing and denaturation times and temperatures

Dr. Dave Dvorak (Senior Manager - International Sales, MJ Research, Inc)

13:45 ~ 14:30 The BaseStation - A new high throughput, low running cost platform for automated DNA sequencing, genotyping and SNP discovery

Dr. Erick Suh (Manager - Technical Sales, MJ Research, Inc)

14:30 ~ 15:15 The BaseStation as a High Throughput Genomics Tool - optimized dilution protocols, high data quality and long reads make this robust new platform highly effective in demanding environments

Dr. Evan Skowronski (Director - Sequencing Operations, MJ GeneWorks)

BT-2J ビーエム機器株式会社, 日本ブルカー・ダルトニクス株式会社

12月14日(木) 13:15 ~ 15:15 J会場

題名: ポストゲノム戦略: TOF-MASS による SNP とプロテオーム解析

総司会: 和田芳直(大阪府立母子保健総合医療センター研究所)

13:15 ~ 13:20 はじめに

和田芳直(大阪府立母子保健総合医療センター研究所)

13:20 ~ 13:50 TOF-MASS によるプロテオーム解析

菰沢 崇(日本ブルカー・ダルトニクス株式会社)

13:50 ~ 14:30 MALDI-TOFmass spectrometry A tool for high-accuracy, high-throughput SNP genotyping The GOOD assay

Dr. Markus Kostrzewa (Bruker Saxonian Analytik GmbH)

14:30 ~ 15:15 SNP 解析に基づくテーラーメイド医療

辻本豪三(国立小児病院小児医療研究センター・分子細胞薬理研究部)

バイオテクノロジーセミナー

BT-2K NEPA グループ: 代表テアールテック株式会社

(有) ユニークメディカル・イマダ, (株) ベックス, (有) ジン・システム, トキワサイエンス (有)

12月14日(木) 13:15 ~ 15:15 K会場

題名: In Vivo・In Vitro Electroporation: 非ウイルス性遺伝子導入・薬物送達のニューテクノロジー (第3回)

座長: 村松達夫 (名古屋大学大学院生命農学研究科)

13:15 ~ 13:17 ご挨拶

13:17 ~ 13:35 In vivo electroporation 法によるマウス胎仔脳への高効率遺伝子導入

忽那純子, 中辻憲夫, 斎藤哲一郎 (京都大学・再生医科学研究所)

13:35 ~ 13:53 In vivo electroporation と virus ベクターの組合せによる遺伝子の機能解析

~ 心臓, 肢芽, 網膜, 脳の形態形成に新たな知見を求めて ~

竹内 純, 小椋利彦 (奈良先端大・バイオサイエンス研究科・動物代謝調節学講座)

13:53 ~ 14:11 In vivo electroporation によるラットの筋肉および皮膚への遺伝子導入

丸山弘樹¹, 宮崎純²

(¹ 新潟大学・医学部・第二内科, ² 大阪大学大学院医学系研究科 G6 先端応用医学専攻分子防御医学講座)

14:11 ~ 14:29 In vivo electroporation 法による腎臓をターゲットとした遺伝子導入 - 移植腎に対する遺伝子治療を目指して -

辻江道子, 猪阪善隆, 中村弘之, 今井圓裕 (大阪大学・病態情報内科学)

14:29 ~ 14:47 In vivo electroporation を用いた固形腫瘍の遺伝子治療

後藤智明, 西 徹, 生塩之敬 (熊本大学・医学部・脳神経外科)

14:47 ~ 15:05 ヒト椎間板ヘルニア由来軟骨細胞 (KTN-1): In vitro electroporation 法による livig colors 遺伝子解析

永田見生¹, 津留美智代¹, 上野隆登², 佐田通夫³

(¹ 久留米大学・医学部・整形外科, ² 同・先端癌治療センター, ³ 同・第二内科)

15:05 ~ 15:15 終わりの挨拶

BT-3A ライフテック オリエンタル株式会社

12月15日(金) 13:15 ~ 15:15 A会場

題名: ワールドスタンダードな GATEWAY™ クローニングテクノロジー
最新テクノロジーを用いた世界のプロジェクトの動き

司会: 今本 文男 (ライフテック オリエンタル株式会社・科学技術顧問)

13:15 ~ 14:15 最新クローニング技術

GATEWAY™ クローニングシステム

五島直樹 (ライフテック オリエンタル株式会社・横浜研究所)

14:15 ~ 15:15 GATEWAY テクノロジーの最新情報

Life Technologies R&D Scientist

バイオテクノロジーセミナー

BT-3B 宝酒造株式会社
12月15日(金) 13:15 ~ 15:15 B会場

題名: ポストシーケンス研究の新技术紹介

司会: 守口 誠 (宝酒造株式会社・バイオ営業部長)

1. DNA チップテクノロジー, その基礎と応用
 2. DNA ビーズを用いた遺伝子発現解析技術
-

BT-3D 日製産業株式会社
12月15日(金) 13:15 ~ 15:15 D会場

題名: ポストゲノムの最前線

13:15 ~ 13:55 Nanochip 解析システムとその応用

Bud Bromley (Nanogen 社)

13:55 ~ 14:35 分子生物的研究における共焦点顕微鏡の役割

菊池 章 (広島大学・医学部・第一生化学教室)

14:35 ~ 15:15 マイクロファブリケーション電気泳動装置の現状と展開

萩原 久 (日立電子エンジニアリング(株) バイオシステム部)

BT-3H 日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社 / 株式会社 DNA チップ研究所
12月15日(金) 13:15 ~ 15:15 H会場

題名: ポストゲノムシーケンス時代の遺伝子解析

- DNA チップと情報処理手法の応用 -

司会: 田村卓郎 (日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社)

13:15 ~ 13:25 ごあいさつ

松原謙一 (株式会社 DNA チップ研究所)

13:25 ~ 13:40 cDNA チップを用いたマウス脳の遺伝子発現解析

Lim Chun Ren (株式会社 DNA チップ研究所)

13:40 ~ 13:55 酵母チップを用いた酵母株の同定

百合野以子 (株式会社 DNA チップ研究所)

13:55 ~ 14:15 ヒト臨床材料を用いた DNA チップ解析

金子周一 (金沢大学・医学部)

14:15 ~ 14:30 日立ソフトの DNA チップ製品と情報処理

田村卓郎 (日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社)

14:30 ~ 14:55 ポストゲノムデータの解釈援助システムの開発

- 全医学知識のグラフ化 (BOB) -

大久保公策 (大阪大学・細胞生体工学センター)

14:55 ~ 15:15 デスクトップ大量データ処理環境の提案

- 実用的な BOB 利用システムの開発 -

山下 巖 (日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社)

BT-3I アブライドバイオシステムズジャパン株式会社
12月15日(金) 13:15 ~ 15:15 I会場

題名: ゲノム多型解析とプロテオミクスの実用化に向けて

座長: 三木哲郎 (愛媛大学医学部老年医学講座)

Strategies for High Throughput SNP Analysis on the ABI PRISM Sequence Detection Systems

Junko Stevens, Jason Ma, Wanli Bi and Ken Livak (Applied Biosystems PCR SDS R & D)

Automated Analysis and Multiplex Scoring of Single Nucleotide Polymorphisms (SNPs) using Mass Spectrometry

Jon Speak, Phil Ross, Laura Hall, Andrew Belden, Igor Smirnov, Marjorie Minkoff, Lawrence A.Haff

(Applied Biosystems)

Proteomics: The Emerging Frontier of Discovery Science

Arnold M. Falick, Ph.D. (Applied Biosystems)

BT-3J 株式会社 キアゲン
12月15日(金) 13:15 ~ 15:15 J会場

題名: 最新 SNP 解析法による疾患遺伝子検索と最新 Microarray 技術

司会: 香川靖雄 (女子栄養大学)

13:15 ~ 13:45 生活習慣病と SNPs

香川靖雄 (女子栄養大学)

13:50 ~ 14:15 SNP 解析最前線, 国立ガンセンター疾病ゲノムセンターでの取り組み

太田 力 (国立ガンセンター・疾病ゲノムセンター)

14:20 ~ 14:45 A new, Proven, High-Throughput SNP Analysis Technology for Application in the Research of Genetically Incidental Diseases

A. Duesterhoeft (QIAGEN Genomics, Inc.)

14:50 ~ 15:15 Planar Waveguide Microarrays for Increased Sensitivity in Gene Expression Monitoring

A. P. Abel, N. G. Scharer-Hernandez, H. Schwarz, A. Zrolka, W. Price and A. Schafer

(QIAGEN Inc, QIAGEN GmbH, Zeptosens AG)

BT-3K ピアコア株式会社
12月15日(金) 13:15 ~ 15:15 K会場

題名: プロテオミクスの新展開 - タンパク質の相互作用解析 -

司会: 磯辺 俊明 (東京都立大学大学院・理学部研究科)

13:15 ~ 13:30 発現プロファイルの解析から機能プロテオミクスへ

磯辺俊明 (東京都立大学大学院・理学部研究科)

13:30 ~ 14:05 プロテオミクスを手法とするタンパク質のリンケージ解析

高橋信弘 (東京農工大学・農学部)

14:05 ~ 14:40 BIA-MS によるタンパク質相互作用解析

中山 洋 (理化学研究所・生体分子解析室)

14:40 ~ 15:15 Pharmacoproteomics と分子間相互作用

小田吉哉 (エーザイ株式会社)

バイオテクノロジーセミナー

BT-4A 日本ミリポア株式会社

12月16日(土) 13:15 ~ 15:15 A会場

題名: ゲノム解析・マイクロアレイ・SNPsのための High Throughput に対応した Purification Technology
- MultiScreen System を用いた High Throughput Sample Preparation -

司会: 清水孝悦

(日本ミリポア株式会社・アナリティカル事業本部・アナリティカル製品技術営業部・フィールドマーケティング)

13:15 ~ 13:45 イネゲノム塩基配列解析における効率的な鋳型調製システムの構築

片寄裕一(農林水産省・農業生物資源研究所・分子遺伝部・ゲノム構造研究室)

13:45 ~ 14:15 DNA マイクロアレイのシステム化

- ラット標準化遺伝子ライブラリー DNA チップを用いた病態関連発現遺伝子の解析 -

平澤 明(国立小児病院小児医療研究センター・小児薬理研究部)

14:15 ~ 14:45 Novel High Throughput Sample Preparation Platforms for Genomic and Post-Genomic Analysis

Mike Colman (Millipore Corporation, Danvers, MA)

- 新製品紹介 -

14:45 ~ 15:15 マルチスクリーンプレートを用いた, ゲノム解析研究の迅速効率化

- マルチスクリーン 384well プレートによる, 高感度微量化への応用 -

藤田泰樹(日本ミリポア株式会社・アナリティカル事業本部・アナリティカル製品技術営業部・アプリケーション R&D)

BT-4B 三井情報開発株式会社

12月16日(土) 13:15 ~ 15:15 B会場

題名: 転写制御解析

- その方法論とツール -

13:15 ~ 13:45 微生物ゲノム生物学の展開と情報科学

小笠原直毅(奈良先端科学技術大学院大学・バイオサイエンス研究科)

13:45 ~ 14:15 発現プロファイルからのネットワーク同定の戦略と問題点

久原 哲(九州大学大学院・農学研究院)

14:15 ~ 14:45 マイクロアレイによる遺伝子発現ネットワークの解析

村上康文(東京理科大学・基礎工学部)

14:45 ~ 15:15 転写因子データベース TRANSFAC およびゲノムワイド転写制御機構解析ツール Promoter Inspector

大山 彰(三井情報開発株式会社・バイオサイエンス事業部)